

平成30年度森林湖沼環境税活用事業の実績について


1 税収額・支出額

	当初計画	決算見込み
(1) 税収額	1, 738, 137千円	1, 754, 218千円
(2) 支出額 (税充当額)	2, 470, 965千円	1, 949, 094千円
森林の保全・整備 (うち前年度からの繰越額)	994, 770千円 (17, 665千円)	753, 721千円 (14, 735千円)
湖沼・河川の水質保全	1, 476, 195千円 (134, 142千円)	1, 195, 373千円 (134, 142千円)

2 森林の保全・整備

(1) 平成30年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 自立した林業経営による適切な森林管理と 木材利用の推進		607, 507千円 (17,665千円)	467, 873千円 (14,735千円)
いばらきの森再生事業  間伐が実施されたスギ林と作業道	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的な森林管理を推進するため、意欲と能力のある林業経営体を実施する間伐や再造林等に対し補助 ・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助 	間伐 800 ha 再造林 40 ha 42, 000 m 340, 830千円	間伐 649. 3ha *炭素吸収量 1,169炭素ト/年 再造林 14. 5ha *炭素吸収量 29炭素ト/年 ※森林境界の画定が遅れたこと等により、計画よりも実績が下がった。 77, 750 m ※間伐対象森林の奥地化に伴い必要となる作業道延長が伸びたため、実績が計画を上回った。 286, 736千円

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
種苗生産体制整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・再造林の推進に伴い需要増が見込まれる苗木の安定供給を図るため、採種園の整備等を実施 	採種園 0.3ha 4,100千円	採種園 0.3ha 3,706千円
森林施業効率化促進事業  <p>高性能林業機械による作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助 	延べ 110か月分 13,360千円	延べ 58か月分 ※間伐等の事業量が減少したことに伴い、実績が下がった。 8,145千円
高精度森林情報基盤整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林における航空レーザー測量による森林情報の整備を実施 	1町 32,000千円	1町 (大子町7, 163ha) 30,979千円
いばらき木づかいチャレンジ事業  <p>幼稚園の木造化・木質化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の木造化・木質化や新築木造住宅を支援 ・学校等への木製品導入に対し補助 	木造化・木質化 8施設 新築木造住宅 10戸 木製品導入 10施設 139,217千円 (17,665千円)	木造化・木質化 7施設 新築木造住宅 8戸 木製品導入 8施設 94,502千円 (14,735千円)

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
県立学校ブロック塀緊急安全対策事業  ブロック塀の木質化	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年6月に発生した大阪府での地震によるブロック塀倒壊事故を踏まえ、県立学校のブロック塀を撤去し、県産木材の有効利用のため、正門脇等に木塀を設置 	学校数 7校 78,000千円	学校数 6校 43,805千円
② 県土・生活環境の保全		320,620千円	237,832千円
条件不利地森林整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 地形等の自然条件が林業経営に適さない人工林の広葉樹林化に対し補助 	10ha 8,220千円	なし ※森林境界の画定が遅れたこと等により、実績がなかった。 0千円
海岸防災林機能強化事業  松くい虫予防の薬剤散布	<ul style="list-style-type: none"> 海岸防災林の機能強化を図るため、広葉樹の植栽や松くい虫予防のための薬剤散布を実施 	植栽 18.0ha 薬剤散布 41.1ha 160,000千円	植栽 16.1ha 薬剤散布 42.0ha 131,668千円
身近なみどり整備推進事業  見通しがよくなった平地林	<ul style="list-style-type: none"> 地域にとって良好な生活環境や、やすらぎの場をつくるため平地林・里山林の整備に対し補助 	100ha 152,400千円	86.2ha ※炭素吸収量 60炭素ト/年 ※森林所有者との調整未了などにより実施箇所・面積が減少したため、計画よりも実績が下がった。 106,164千円

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
③ 森林に対する県民意識の醸成		66,643千円	48,016千円
森林・林業体験学習促進事業  体験学習の様子	<ul style="list-style-type: none"> 森林づくりに関わる様々な体験メニューを提示し、森林・林業の体験学習を実施 	12,500人 49,490千円	10,733人 32,531千円
いばらきの森普及啓発事業  PRキャラバン  森林ボランティアの活動	<ul style="list-style-type: none"> 森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施 市町村が行う森林湖沼環境税や森林・林業の普及啓発活動に対し補助 地域の森林づくりなどの活動を促進するため、NPO団体などに対し補助 	パンフレット作成 15,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 PRキャラバン (県内5箇所) 5市町村 20団体 14,153千円	パンフレット作成 15,000部 県広報紙「ひばり」に 特集記事掲載 (平成30年7月) PRキャラバン (県内7箇所) 5市 20団体 13,720千円
筑波山ブナ林保護対策事業  ロープ柵の設置	<ul style="list-style-type: none"> 筑波山のブナ林保護のため、林床のササ刈り等を実施 	ロープ柵設置 135m 林床ササ刈り 750㎡ 3,000千円	ロープ柵設置 76.3m 林床ササ刈り 1,035㎡ 1,765千円

【平成30年度の事業実施による効果】

- 1 自立した林業経営を目指す経営体による森林経営集約化面積〔2037年：30,000ha〕
平成29年度末：2,300ha → 平成30年度末：6,625ha〔4,325ha増〕
- 2 森林整備（間伐 649ha, 再造林15ha, 平地林等の整備86ha）による効果
 - (1) 森林整備の効果を公益的機能の観点から金額換算
→ 約12億円に相当
 - ① 水源涵養 約3億3千万円 ② 土砂流出等防止 約4億4千万円 ③ 二酸化炭素吸収 約3億8千万円
〔※炭素吸収量(H30) 1,256炭素トン〕
 - (2) 森林整備に係る費用対効果は、約3倍（効果：12億円／費用：4億円）

- (2) 令和元年度の主な取り組み（令和元年度予算（税充当額）： 1,066,464 千円
うち前年度からの繰越額 108,175 千円）

ア 自立した林業経営による適切な森林管理と木材利用の推進

経営規模の拡大に取り組む意欲と能力のある林業経営体が行う集約化を一層推進するため、航空レーザー測量による森林情報の整備と情報提供を行う。

併せて、集約化した森林内において実施する再造林などの森林整備を支援するとともに、森林施業の効率化を図るため、高性能林業機械のレンタル経費などに対して支援する。

また、木材需要の拡大を図るため、木材利用のモデルとなる公共施設・民間施設の木造化・木質化や木造住宅の建築と併せて、児童等が使用する木製品の導入を支援する。

イ 県土・生活環境の保全

条件不利地における人工林の広葉樹化を進めるとともに、海岸防災林の機能強化や生活環境保全のための平地林等の整備を推進する。

ウ 森林に対する県民意識の醸成

森林の働きについて理解を深められるよう、体験学習の実施や、森林づくりや木づかい活動を行う団体の取組を支援するとともに、税活用事業やその成果についてPRを実施する。






3 湖沼・河川の水質保全

(1) 平成 30 年度の実績

() は前年度繰越額を内書き

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
① 生活排水等対策		708,125千円	558,253千円
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の設置	<ul style="list-style-type: none"> 高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽よりも少なくなるよう上乘せ補助 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、単独処理浄化槽の撤去費用を補助 	設置補助 1,531基 485,993千円	設置補助 1,276基 372,260千円 *年間負荷削減量 COD:約29.6ト 全窒素:約4.7ト 全りん:約0.43ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  下水道接続工事 農業集落排水施設接続支援事業  農業集落排水施設	<ul style="list-style-type: none"> 下水道の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助 農業集落排水の整備済み地域において、未接続世帯を解消するために市町村が行う接続支援に対して補助 	下水道 2,035件 147,960千円 農業集落排水施設 265件 16,925千円	下水道 942件 118,105千円 農業集落排水施設 121件 18,389千円 *年間負荷削減量 COD:約18.2ト 全窒素:約7.3ト 全りん:約0.79ト ※補助申請が当初の計画よりも少なかったため、計画よりも実績が下がった。
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	<ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施 	立入検査 1,100事業所 46,622千円	立入検査 1,212事業所 38,927千円 *年間負荷削減量 COD:約15.0ト 全窒素:約12.8ト 全りん:約1.96ト
排水処理施設りん除去支援事業  排水処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水施設の排水から更にりんを除去するため、薬剤の追加添加等にかかる費用を市町村に補助 	対象施設 35施設 10,625千円	実施施設 35施設 10,572千円 *年間負荷削減量 全りん:約0.75ト

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
② 農地・畜産対策		86,482千円	59,952千円
霞ヶ浦農業環境負荷低減栽培技術推進事業  レンコン田	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦周辺のレンコン田における環境負荷低減栽培技術の開発・普及 畑地における適正施肥栽培の実証ほ設置、負荷低減技術の普及等 	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 23,426千円	適正施肥技術の開発・普及 適正施肥技術の普及 18,986千円
良質堆肥広域流通促進事業  良質堆肥の散布	<ul style="list-style-type: none"> 畜産系負荷削減のため、霞ヶ浦流域内で生産された堆肥を流域外へ流通する取組等に対して支援 	流域外における堆肥施用面積 60ha 14,856千円	流域外における堆肥施用面積 60ha 12,502千円 *年間負荷削減量 全窒素：約17.7トﾝ
家畜排せつ物農外利用等促進事業  炭化灰化処理装置	<ul style="list-style-type: none"> 畜産農家における炭化灰化処理装置や蒸発散施設の整備への補助 	整備箇所数 3か所 38,200千円	整備箇所数 2か所 18,471千円
水田水質保全対策モデル事業  管理の高度化による農業用水の節水 （自動給水栓の設置）	<ul style="list-style-type: none"> 流域水田における土地改良施設を活用した循環かんがいや管理の高度化による農業用水の節水等の水質保全対策の取組に対する支援 	取組地区数 1地区 10,000千円	取組地区数 1地区 9,993千円 *年間負荷削減量 令和元年から負荷削減量の測定を開始する

事業区分（事業名）	事業内容	当初計画	実績
③ 県民意識の醸成		258,601千円	215,528千円
県民参加水質保全活動推進事業  湖上体験スクール	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施 	参加者数 9,600人 回数 — 62,551千円	参加者数 9,585人 回数 310回 58,205千円
水質保全市民活動・環境学習等推進事業  環境学習の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施 ・霞ヶ浦自然観察会等の環境学習，霞ヶ浦学講座等のリーダー養成の実施 	補助団体数 30団体 参加人数 延べ7,200人 20,584千円	補助団体数 28団体 参加人数 延べ7,138人 16,632千円
漁場環境・生態系保全活動支援事業  植生(ヨシ)帯の保全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動に対して補助 	支援団体数 7活動組織 2,000千円	支援団体数 7活動組織 1,924千円
世界湖沼会議開催事業  第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回世界湖沼会議の開催 	世界湖沼会議の開催 173,466千円	世界湖沼会議の開催 138,767千円
④ 水辺環境の保全		422,987千円 (134,142千円)	361,640千円 (134,142千円)
漁業による水質浄化機能促進事業  未利用魚を回収	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用魚の回収委託（魚体を通じた窒素・りん回収） 	未利用魚回収量 370トン 16,003千円	未利用魚回収量 354トン 15,589千円 *年間負荷削減量 全窒素：約8.7ト 全りん：約2.38ト

事業区分 (事業名)	事業内容	当初計画	実績
霞ヶ浦・北浦アオコ対策事業  アオコ抑制装置の設置	・アオコ抑制装置の設置等によるアオコ被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置, アオコ回収等 20,627千円	アオコ抑制装置の設置 15,551千円
千波湖アオコ対策事業  アオコ集積防止装置の設置	・アオコ集積防止装置の設置等による景観保全及び悪臭被害防止対策の実施	アオコ抑制装置の設置 11,500千円	アオコ抑制装置の設置 11,340千円
霞ヶ浦直接浄化対策検証事業  直接浄化施設	・土浦港内に設置する湖水の直接浄化施設によるりん削減等の実証試験の実施	施設運転管理, 検証 107,368千円	施設運転管理, 検証 81,789千円
霞ヶ浦流域重点対策推進事業  石田湖岸(閉鎖区の水質浄化)	・新川流域における新たな技術を活用した河川直接浄化施設の設置等	施設運転管理 198,739千円 (134,142千円)	施設運転管理 175,266千円 (134,142千円)
霞ヶ浦水質環境改善事業  霞ヶ浦環境科学センターにおける研究	・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究	水質改善に向けた試験研究 (アオコの動態解明に関する調査・研究等) 68,750千円	水質改善に向けた試験研究 (アオコの動態解明に関する調査・研究等) 62,105千円

【平成30年度の年間負荷削減量増加分合計】

COD : 約62.8トン 全窒素 : 約51.2トン 全りん : 約6.31トン
→平均的な家庭約9,000世帯分の年間排出負荷量(COD)に相当

(2) 令和元年度の主な取り組み（湖沼・河川の水質保全）

（令和元年度予算（税充当額）：1,170,984千円

うち前年度からの繰越額 4,598千円）

ア 生活排水対策の推進

生活排水の汚濁負荷削減を図るため、下水道・農業集落排水施設への接続について、引き続き促進を行う。また、条例改正を行った工場・事業場の排水対策についても実施する。

イ 農地・畜産対策の推進

霞ヶ浦の畜産由来負荷の削減を図るため、家畜排せつ物の農外利用等を促進する。

ウ 県民意識の醸成

水環境への理解を深めるため、霞ヶ浦の湖上で霞ヶ浦について学習する、霞ヶ浦湖上体験スクールを引き続き実施する。

エ 水辺環境の保全

魚体からの負荷削減を図るため、窒素・りんを体内に取り込んだ未利用魚の回収を実施する。

4 県民に対する森林湖沼環境税の周知について

引き続き、県民に対する森林湖沼環境税の認知度向上及び税活用事業の周知を図るため、以下の取り組みを行う。

- ・県広報紙「ひばり」への特集記事の掲載（7月号）
- ・ショッピングモール等におけるPRキャラバンの実施（7～8月）
- ・県主催等のイベントにおける広報活動の実施
- ・市町村と連携した広報活動の実施
- ・県ホームページ、パンフレットを活用した実績等の広報
- ・事業地への看板設置
- ・森林湖沼環境税PR用の啓発グッズ作成・配布



PRキャラバンの様子



霞ヶ浦湖上体験スクールで
使用する船に掲げられた横断幕



税PR用 普及啓発グッズ